
第31期(2022年度)SC 経営士一次試験問題

商業一般

時間 45分

点数配分 75点

注意事項

1. はじめに、受験番号（4桁）・氏名・ふりがなを記入し、受験番号に該当する番号をマークしてください。
2. 解答はすべて、解答用紙（マークシート）に記入してください。
3. 各問題とも問題文の指示にしたがって、正解と思う番号を選び、解答用紙（マークシート）の解答欄にその番号をマークしてください。
4. 記入は必ず、HBもしくはBの黒鉛筆またはシャープペンシルで、○のなかを正確に塗りつぶしてください（ボールペンは不可）。
5. 訂正は、プラスチック製消しゴムできれいに消し、消し屑を残さないでください。
6. 解答用紙（マークシート）には所定の記入欄以外には記入しないでください。
7. 解答用紙（マークシート）は、汚したり、折り曲げたりしないでください。

<記入上の注意>

・マークの仕方

[良いマーク]



[悪いマーク]

チェック



斜め



短い



細い



ハミ出し



薄い



小さい



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

【第1問】〈配点 10点〉

(解答番号は 1 から 5)

小売業のサステナビリティに関する次の文章を読み、空欄に入る最も適切な語句を下記の語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

地球環境問題は、国際社会が一体となって取り組むべき重要課題であり、小売業においても、環境に配慮した取組は必須となってきている。

平成27年（2015年）12月、第21回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな枠組みとして「1 協定」が採択され、平成28年（2016年）に発効した。「1 協定」では、世界全体の平均気温の上昇を工業化以前よりも2℃未満に抑制することを規定するとともに、1.5℃までへの抑制に向けた努力を継続することが目標とされている。

日本は、この目標の実現に向けて「2050年 2」の実現を目指すことを長期戦略として掲げている。「2」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を、森林管理などによる吸収量を差し引いてバランスをとることで、実質ゼロにすることである。

消費においても、3 消費が若い世代を中心に広まっており、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮したブランドや商品が購入されるようになっている。

小売業では、生産から製造や流通までの 4 全体での環境負荷の低減の取り組みや、生活者が環境に対する負荷が少ないものを正しく選べるよう製品のタグに記載するなど情報開示の動きが広がってきている。

環境配慮という点では、不要になった素材を単に再利用するのではなく、特徴を活かして新たな製品に作り直す 5 も注目を集めている。

語群

1	1. ダボス	2. 京都	3. パリ
	4. スtockホルム	5. グラスゴー	
2	1. カーボンマイナス	2. カーボンオフ	3. カーボンバランス
	4. カーボンニュートラル	5. カーボントレード	
3	1. E S G	2. エシカル	3. サステナブル
	4. Z世代	5. S D G s	
4	1. サプライチェーン	2. サードパーティ	3. ベンダー
	4. フルフィルメント	5. S a a S	
5	1. アップステージ	2. アップサイクル	3. アップスケール
	4. アップユース	5. アップセル	

【第2問】〈配点 10点〉

(解答番号は 6 から 15)

小売業に関する以下の記述のうち正しいものには1を、誤っているものには2を、解答欄にマークしなさい。

6 経済産業省「商業動態統計調査」によると、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストアはともに、令和3年(2021年)の商品販売額が新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年(2019年)を上回った。

7 日本百貨店協会によると、全国百貨店売上高のうち、美術・宝飾・貴金属など高額品の令和3年(2021年)の売上高は景気の悪化で低迷しており、化粧品や食料品などと比べて、新型コロナウイルス感染拡大前からの落ち込みが激しい。

8 令和3年(2021年)度の大店立地法の届け出件数は、新型コロナウイルスの感染拡大などによる景気の悪化を受けて、令和2年(2020年)度よりもさらに減少している。

9 日本のアパレル市場について1990年と2020年を比較すると、供給量は増加しているのに対し、市場規模は縮小、衣料品購入単価も落ち込んでいる。

10 日本ショッピングセンター協会をはじめ、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本チェーンドラッグストア協会、日本フランチャイズチェーン協会など、流通関連業界は地球温暖化対策としてエネルギー単位の削減目標を掲げて取り組みを進めている。令和3年(2021年)度の調査結果によると、いずれの業界も進捗率が100%を超えている。

11 サービス産業動向調査は サービス産業全体の生産・雇用等の動向を把握し、GDPをはじめとする各種経済指標の精度向上、サービス産業に係る政策の企画立案及び民間部門における研究や経済活動の意思決定等に資することを目的として毎月実施されている。

12 経済産業省は、キャッシュレス決済比率を2025年までに4割程度、将来的には世界最高水準の80%まで上昇させることを目指し、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいるが、令和3年(2021年)のキャッシュレス決済比率は3割に届いていない。

13 キャッシュレス推進協議会の「コード決済利用動向調査」によると、令和3年(2021年)の国内のQRコード決済取扱高は前年に比べて大きく増加した。取扱高はクレジットカード決済を上回った。

14 経済産業省令和2年(2020年)度「電子商取引に関する市場調査」によると、個人間EC(C to C-EC)は、前年に比べて1割以上増加している。

15 デロイトトーマツグループによれば、令和2年(2020年)度(2021年6月30日までを期末とする事業年度)において、世界で最も売上高の多い小売企業は、Amazon.com(アマゾン)である。

【第3問】〈配点 10 点〉

(解答番号は 1 6 から 2 0)

次の文章は、最近注目されている仕組みや施策に関する記述である。記述文と最も関連の深い語句をそれぞれの語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

- 1 6 荷主に対して物流サービスの向上および業務の効率化を提案することにより、その企業の物流関連業務を全面的に請け負う業務。顧客各社は、倉庫やトラックなどをもたなくてすむためコスト削減が可能になる。

語群

1 6	1. アウトソーシングロジスティックス	2. アウトゴーイングロジスティックス	3. セカンドパーティロジスティックス
	4. サードパーティロジスティックス	5. モーダルシフトロジスティックス	

- 1 7 事前にオンラインで注文した商品を、店舗の駐車場で車に乗ったまま受け取るサービス。コロナ禍で、対人的な接触が避けられることから、米国では多くの大手小売業が導入している。

語群

1 7	1. インストアピックアップ	2. カーブサイドピックアップ	3. ドライブスルーピックアップ
	4. オンラインピックアップ	5. パーキングピックアップ	

- 1 8 需要状況に応じて価格を変動させることによって需要の調整を図る手法のこと。需要が集中する季節・時間帯は価格を割高にして需要を抑制し、需要が減少する季節・時間帯は割安にして需要を喚起する。

語群

1 8	1. オープンプライシング	2. A I プライシング	3. ペネトレーションプライシング
	4. スキミングプライシング	5. ダイナミックプライシング	

19	後払い方式の決済手段。クレジットカードの審査が厳しい欧米や、クレジットカードの保有率が低いアジアを中心に広がってきた。オンラインショッピングの拡大に伴って、日本でもクレジットカード保有率の低い若年層をターゲットにサービスの拡大が見込まれている。		
----	--	--	--

語群

19	1. QRコード	2. BNPL	3. デビットカード
	4. CAFIS	5. PNBL	

20	ビットコインなどの暗号資産と同じく、ブロックチェーン上で発行されるトークンの一種。個々のトークンを識別できるようにしているため、デジタルデータに固有性をもたせることができる。アート作品などデジタルコンテンツの流通において注目されている。		
----	--	--	--

語群

20	1. BFT	2. RFT	3. AFT
	4. FNT	5. NFT	

【第4問】〈配点 10点〉

(解答番号は 21 から 25)

小売業におけるデジタルトランスフォーメーションに関する次の文章を読み、空欄に入る最も適切な語句を下記の語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

生活者の購買行動の多様化、人手不足の深刻化、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、デジタルトランスフォーメーション（以下DX）への取り組みは、小売業にとっても必要不可欠である。小売業のDXには様々な側面があるが、大きくは顧客と直接接点を持つフロント機能と、それ以外のバック機能の2つに区別することができる。

フロント機能のDXでは、販売員がビデオ通話やチャットなどで接客するオンライン接客、多数の顧客に向けてライブ配信で商品を紹介し販売する 21、インターネット上の仮想空間にモールや店舗を設置してリアル店舗と同じような購買体験ができる 22 がある。最近では、仮想空間で自分の分身であるアバターを作成して行動する 23 の活用も注目されている。

バック機能のDXとしては、客数や売れ行きの予測など蓄積データを活用したデータサイエンスによる業務改革、ロボットを活用した在庫管理の省人化、ECで注文された商品を店舗で受け渡す 24 などオンラインとオフラインを融合させた物流や配送の効率化が挙げられる。既存の店舗や営業所など小規模な拠点を倉庫として配送ネットワークを構築する仕組みを 25 といい、米国の大手小売業を中心に取り組みが進んでいる。

語群【21－23】

21	1. スマートコマース	2. SNSコマース	3. VRコマース
	4. テレビショッピング	5. ライブコマース	6. ARコマース
22	7. XRコマース	8. メタバース	9. メタコマース
23	10. CRコマース	11. インスタコマース	12. ラインコマース

語群【24－25】

24	1. スマートコネクト	2. BOPIS	3. クリック&モルタル
	4. BORIS	5. BODFS	6. マイクロ・フルフィルメントセンター
25	7. メタ・フルフィルメントセンター	8. ロジスティクス・フルフィルメントセンター	9. BOPAC

【第5問】〈配点 5点〉

(解答番号は 26 から 30)

サードプレイスに関する記述のうち正しいものには1を、誤っているものには2を、解答欄にマークしなさい。

26 オルデンバーグによれば、「サードプレイスというのは、家庭と仕事の領域を超えた個々人の、定期的で自発的でフォーマルな、お楽しみの集いのために場を提供する、さまざまな場所の総称」である。

27 サードプレイスでは、人は家庭や職場での役割から解放され、一個人としてくつろげる。

28 パリのカフェ、イギリスのパブ、ドイツのビアガーデンなどがサードプレイスの代表例である。

29 サードプレイスがその役目を果たすには、利用が容易でなければならない。そして、サードプレイスの利用が容易かどうかは、価格とサービスの両方が最も重要である。

30 サードプレイスは、全ての人を平等にする。サードプレイスのなかでは、地位や身分にかかわらず、当人の人柄の魅力こそがものを言う。

【第6問】〈配点 10点〉

(解答番号は 31 から 40)

次の文章は損益分岐点分析に関する記述である。文中及び表の空欄に最も適切な語句を下記のそれぞれの語群から選び、その番号をマークしなさい。

損益分岐点とは、売上高と総費用とが一致する点のことである。一般的に、31 とは売上高や販売数量の増減に比例して増減する費用のことをいい、32 とは売上高や販売数量とは関係なく毎年一定額発生する費用のことをいう。損益分岐点売上高は、その売上高における変動費と固定費の合計額に等しくなる。

損益分岐点売上高を超える売上高の時には 33 が計上され、下回っている時は 34 が発生する。したがって、損益分岐点分析を行う際には、費用を変動費と固定費に分解する必要がある。

(単位:千円)

	X1年度
売上高	35
固定費	12,000
変動費	10,000
総費用	22,000
販売単価	100円
販売数量	250千個
変動費率	36
限界利益率	37
損益分岐点売上高	38
損益分岐点比率	39
安全余裕率	40

語群 (31 から 34)

1. 特別損失	2. 固定費	3. 純利益
4. 営業外収益	5. 限界利益	6. 総費用
7. 営業外費用	8. 変動費	9. 特別利益
10. 売上総利益	11. 人件費	12. 販売管理費
13. 利益	14. 損失	

語群 (35 から 40)

1. 20%	2. 40%	3. 12%
4. 25,000	5. 20,000	6. 60%
7. 22,000	8. 68.18%	9. 80%
10. 30,000	11. 35,000	12. 88%
13. 70%	14. 45.34%	

次のB社の財務諸表(損益計算書及び貸借対照表)を参照して、経営分析指標を算出し、適切な数値を下記のそれぞれの語群から選び、その番号をマークしなさい。

損益計算書

単位：百万円

I	売上高	1,500,000
II	売上原価	1,085,000
	売上総利益	415,000
III	販売費及び一般管理費	
	人件費	110,000
	販売費	150,000
	減価償却費	30,000
	その他費用	100,000
	営業利益	25,000
IV	営業外収益	
	受取利息・配当金	20,000
	雑収入	4,000
V	営業外費用	
	支払利息	5,000
	雑損失	1,000
	経常利益	43,000
VI	特別利益	2,000
VII	特別損失	2,800
	税引前当期純利益	42,200
	法人税等	16,880
	当期純利益	25,320

貸借対照表

単位:百万円

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	105,000	支払手形	1,000
売掛金	18,500	買掛金	80,000
有価証券	40,000	短期借入金	4,000
棚卸資産	75,000	未払金	30,000
その他の流動資産	30,000	未払費用	10,000
流動資産合計	268,500	流動負債合計	125,000
II 固定資産		II 固定負債	
有形固定資産		長期借入金	10,000
建物	120,000	社債	120,000
構築物	8,000	退職給付引当金	36,000
車両運搬具	400	固定負債合計	166,000
什器備品	13,000	負債合計	291,000
土地	150,000		
有形固定資産合計	291,400	純資産の部	
		I 株主資本	
無形固定資産		資本金	48,000
借地権	3,000	資本剰余金	
ソフトウェア	3,400	資本準備金	100,000
無形固定資産合計	6,400	その他の資本剰余金	1,000
		資本剰余金合計	101,000
投資その他の資産		利益剰余金	
投資有価証券	11,700	利益準備金	10,000
関係会社株式	154,000	別途積立金	500,000
長期差入保証金	300,000	繰越利益剰余金	80,000
投資その他の資産合計	465,700	利益剰余金合計	590,000
固定資産合計	763,500	株主資本合計	739,000
		II 評価・換算差額等	2,000
		純資産合計	741,000
資産合計	1,032,000	負債・純資産合計	1,032,000

- ①B社の売上高総利益率は、 %である
 ②B社の売上高営業利益率は、 %である
 ③B社の売上高経常利益率は、 %である
 ④B社の流動比率は、 %である
 ⑤B社の当座比率は、 %である

語群 (から)

1. 2.86	2. 28.2	3. 27.66
4. 97.1	5. 214.8	6. 1.69
7. 76.7	8. 81.08	9. 13.33
10. 1.66	11. 2.30	12. 130.8
13. 5.6	14. 65.18	

- ⑥B社の固定比率は、 %である
 ⑦B社の自己資本比率は、 %である
 ⑧B社の売上債権回転率は、 回である
 ⑨B社の商品回転率(棚卸資産回転率)は、 回である
 ⑩B社の平均在庫日数(商品回転期間)は、 日である

語群 (から)

1. 71.8	2. 25	3. 28.2
4. 38.25	5. 40	6. 46.6
7. 30	8. 81.08	9. 104.4
10. 20	11. 15.5	12. 103.03
13. 18.25	14. 76.7	

